

## 長野県感染症情報（2019年（令和元年）第32週） （2019年8月5日～2019年8月11日）

2019年（令和元年）8月14日  
 長野県健康福祉部保健・疾病対策課感染症対策係  
 （課長）徳本史郎（担当）唐木英司 笠原ひとみ  
 026-235-7148(直) 026-232-0111(代)内線2639  
 026-235-7170(FAX)  
 Email hoken-shippei@pref.nagano.lg.jp

### ●全数把握感染症

レジオネラ症の原因であるレジオネラ属菌は、自然環境中(土壌、淡水等)に広く生育しています。人工的な水循環設備(循環式浴槽、冷却塔、給湯設備等)の中に侵入、繁殖し、そこから排出されたエアロゾルを吸入することで感染します。高齢者や他の疾患(糖尿病、慢性呼吸器疾患等)により免疫不全が低下している人は肺炎を起こすリスクが高く、特に留意する必要があります。

### ●定点把握感染症

手足口病は定点当たり21.87人で、前週(同21.04人)より微増し、1999年の感染症法による調査開始以降最も高値となりました。患者のせきやくしゃみ、便の中に含まれるウイルスが手などを介して感染します。石けんと流水による手洗いを行い、タオルの共有は避けましょう。

○次週第33週の発行は、8月21日(水)の予定です。

○厚生労働省「手足口病に関するQ&A」

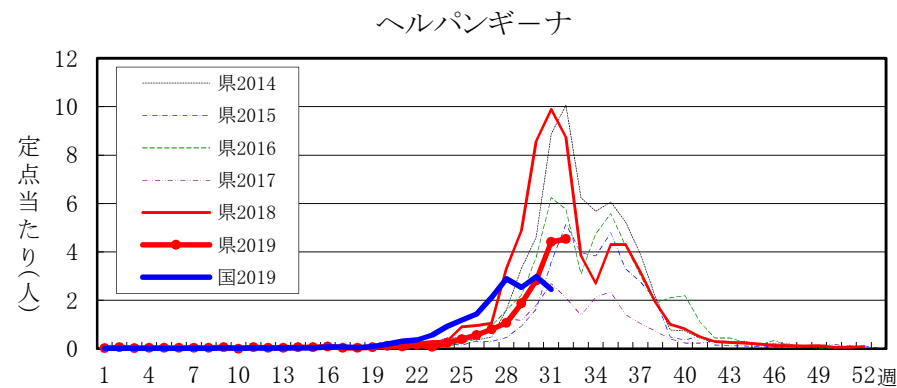
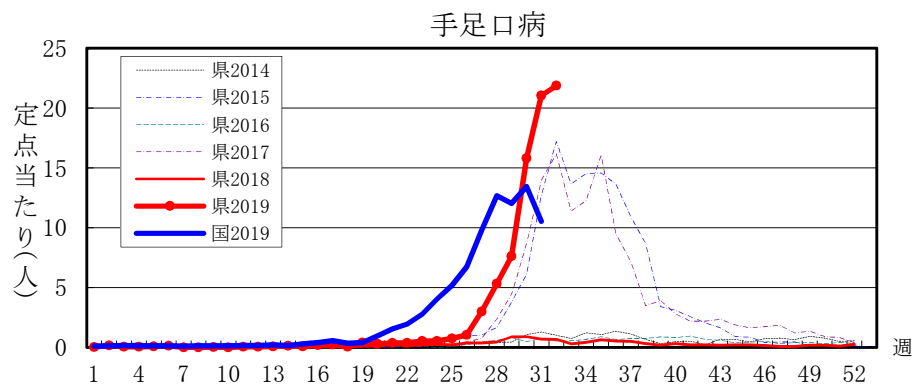
<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/hfmd.html>

### 全数把握感染症届出状況

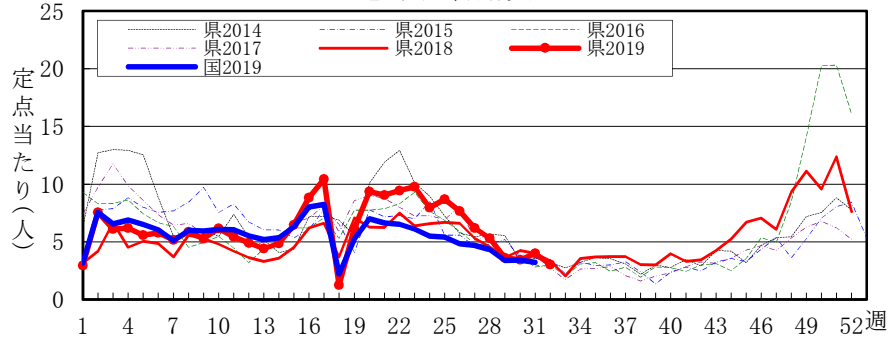
一類感染症	なし
二類感染症	結核 1例、潜在性結核 5例
三類感染症	なし
四類感染症	レジオネラ症 4例
五類感染症	アメーバ赤痢1例、急性弛緩性麻痺1例、ジアルジア症1例、百日咳6例
動物感染症	なし

### 定点把握感染症届出状況

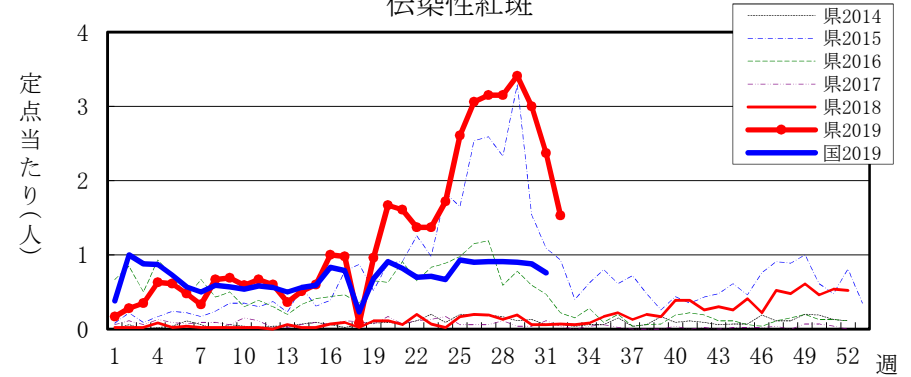
感染症名	今週	1週前	2週前
1 手足口病	21.87	21.04	15.80
2 ヘルパンギーナ	4.53	4.41	2.81
3 感染性胃腸炎	3.04	4.00	3.44
4 伝染性紅斑	1.53	2.37	3.00
5 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.89	0.87	1.09



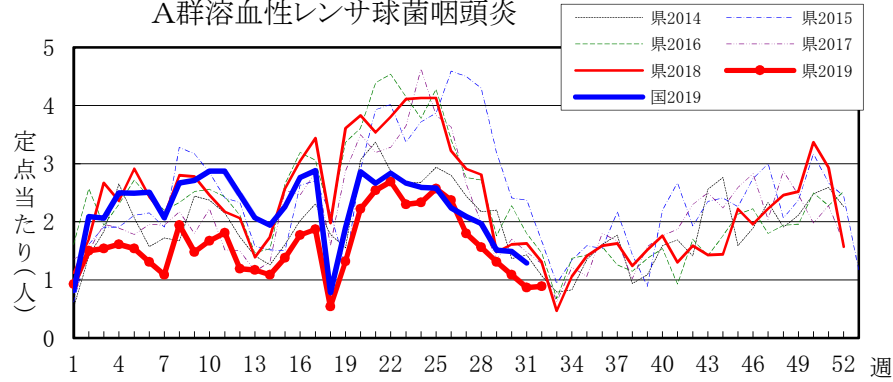
感染性胃腸炎



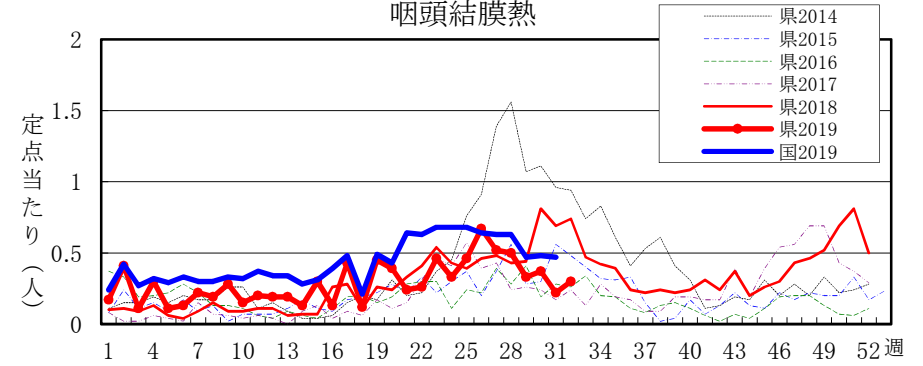
伝染性紅斑



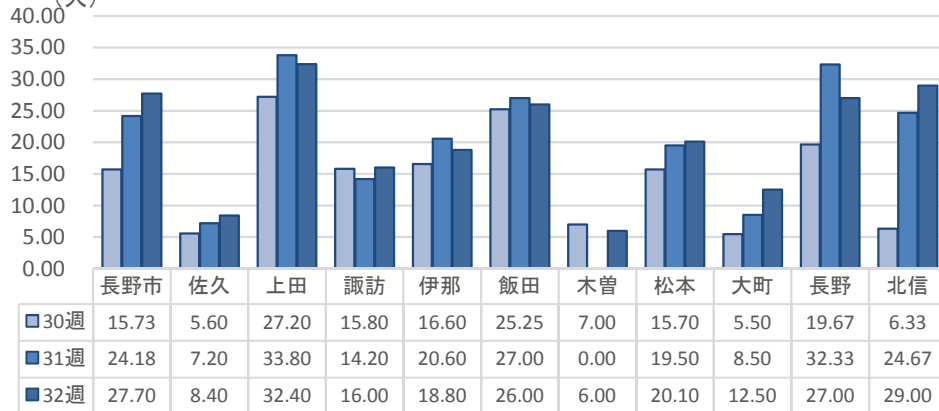
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



咽頭結膜熱



手足口病 地区別患者届出数



ヘルパンギーナ 地区別患者届出数

